

第3回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 4 月 3 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1・2 会議室
部 会 名	第 1 グループ	出席者	6 名

■ 議論内容 ● 悪いところ ○ 良いところ ☆ 提案

村財政の再生

- ☆村の行政職員の若返り
- ☆村の財政上のムダを省く。人件費
- ☆村の台所をしっかりとる
 - ・収入に応じた執行をする
 - ・収入を村独自で増やす努力をする

財政 合併の失敗…心に…

教育が宝

人の「心」をたがやす

- ☆教育の見直し 村の地域性、自然がきもちを生かす体験環境（生産、奉仕、体験）
- ☆教育の特色をもつ

人づくり

- ☆村の人資源をみつける
- ☆人を活かす→千早赤阪塾の設立

- ☆若者の定着 ・子育て支援
- 医療の無料化等による

連携する仕組

- ☆現在村の中にある NPO 又は近いグループを集計して資金のバックアップで活動を活発化
- ☆グループのリストUP
- ☆連携を呼掛けるイベントを 3 回／年
- ☆年間を通じて人集めの出来る棚田でのイベント計画を作る
- ☆整備と活用の計画をつくる
 - 農業祭
 - レング祭
- ☆広域の連携も
 - 元気のある汗を流せる
 - 既存組織の活性化

- 村が荒み出している←活性化する
- 村に「自信」が持てない

資源を活かす

- ☆金剛山を府のシンボル化計画
- ☆金剛山へ滞留する仕組づくり
- ☆観光協会の活性化
- ☆観光施設の連携
 - 散歩コース（自然） 楠弁当 ラジオウオーキング
 - 犬の運動場公園
- ・金を残す

○自然がある 「水」

観光の振興

- ☆道の駅と農産物特売所の統合→一ヶ所にまとめる
- ☆地場のものを置く

- ☆間伐材の有効利用
- ☆チェーンソーアートの推進
- ☆大学生と行政のタイアップ

- ☆地域性をいかした農作物の生産
 - タケノコ

- ☆特産物を作る→口コミで人は集まってくる
 - 楠弁当

- ☆廃校の利用 観光客だけでなく村民の雇用にもつながる
- ☆大阪芸大とのタイアップで「空き家」も利用できる

- ☆空き家活用（小吹台）
 - ・学生、単身者向け下宿先作り

- ☆民間企業との協働
 - （例）たこまきの村おこし

これまでの取組から反省を踏まえて導く→4つの場で検討→バラバラでよいのか

構想のつくり方

①村民会議 ②職員 ③議員 ④アンケート

第3回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 4 月 3 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1・2 会議室
部 会 名	第 2 グループ	出席者	8 名

■ 議論内容 ● 悪いところ ○ 良いところ ☆ 提案

子育て

- 小学生の親が住みやすい村
- 教育の中で小学生から道徳
- 保育所
- バス運行

☆人口維持の対策

- ① 高齢者対応
- ② 現役対応
- ③ 子育て層対応

巡る

- ☆ 役場から電動自転車レンタル
- ☆ 登山口より下りのみのレンタル自転車
- ☆ 登山口にシャワーやロッカー施設を作る
- ☆ シャープ パナソニックとの連携で(企業PR)
- ☆ 観光ルート
- ☆ 各バス停をテーマにそったもので作る

農

- ☆ 千早産ブランドを立ち上げが必要
- ☆ 定年退職者による農業復帰、農地活用
- ☆ 休耕地、放棄地の貸し出し
- ☆ 休耕地の再利用により若い世代を村に呼び戻す PR 活性化
- ☆ 農家の元気作り 販売所を地区的にふやす

川の活用

- ☆ 管理釣場 自然を活用
- ☆ 河川の利用
- ☆ 川歩き
- ☆ 水車でモチをつく
- ☆ 千早川にバーベキュー場をつくる
- ☆ 市川清掃→千早でも実施
- ☆ 川、村里のそうじ
- ホタル

行政

- 住民の村づくり参画相談センター(村づくり班の常設) 10 年間
- ☆ 継続性のある行政

廃校 空き家

- ☆ 教育支援の村として 村づくり
 - ① 山村留学復活
 - ② 不登校生徒家族
 - ③ 給食センター(自前のとりくみ)

廃校利用

- ☆ 廃校利用のために
- ☆ 空き家利用を巡る
- ☆ 立地性 京都 奈良 大阪 神戸
- ☆ 芸大のアトリエ 貸アトリエ
- ☆ クラフト展 教室を貸すなど
- ☆ 芸大とのネットワーク
- ☆ 空き家活用に行政にも関わらない
- ☆ 空き家を行政管理して貸し出す
- 軽トラ市
- 309 号特産店

金剛山

- ☆ 観光税
- ☆ 100 円/人で、年間 280,000 千円になる
- ☆ 自然保護の協力金
- ☆ 金剛山登山者の入山税を頂き、村財収入にして住民にお手伝いをして頂く
- ☆ 金剛山の利用 通行税
- ☆ 山の管理につかう
- ☆ 登山道維持ボランティア協力

新しい顔

- ☆P R
- ☆楠正成公の村としてもっとP Rする
- ☆名勝地の創設
- ☆ex もみじを植える（将来に向けて）
- ☆大阪一（日本一）の側面をつくる ふるさと千早赤阪奉建塔やくすのきホール付近を花、さくらの自然公園化
- ☆特徴ある店を何軒かほしい
- ☆空家を利用した飲食の集合
- ☆手堀りトンネル→ミステリーツアー
- ☆バンジージャンプ 東阪から奥
- ☆町にない祭りをもっとアピール1村に来て頂ける村にする

組織作り

- ☆N P O法人の受皿づくり
- ☆農業団地のせいび
- ☆千早の天気などを写真家達にメール送信サービス
- ☆I.T.Cの活用 H.Pの新設

☆自然の水を売る

第3回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 4 月 3 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1・2 会議室
部 会 名	第 3 グループ	出席者	4 名

■ 議論内容

人を育てる

最も重要

- ☆行事などによる世代間
- ☆住宅を増やす
- ☆学校教育の一貫 幼児 小学校 中学校 家庭教育
- ☆スポーツ大会

人や物の資源を活かして不便さを補い、安心して住めるむら

- ☆コープのようなカタログ販売を行う
- ☆一人暮らしの人への配食サービス→もっと安心できる村をPR

自然エネルギーの活用と環境学習

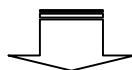
- ☆自然エネルギー公園を作る(水力、風力、火力)
- ☆IT企業を誘致する
- ☆炭焼き 切り炭 竹炭→売れない
- ☆大阪府下の小・中学生
- ☆体験学習
- ☆間伐材の利用(蒔きストーブ)

村の資源を活かす

- ☆村の歴史とガイドボランティアを有効活用 人を呼ぶ工夫
- ☆郷土料理
- ☆タケノコ
- ☆どう生かしていくか
- ☆休養村センター
 - ① ビアガーデン
 - ② 喫茶
 - ③ 郷土料理
- ☆道の駅を今の位置から、車通りの多いところに移動する
- ☆地産地消(道の駅を有効に活用)
- ☆金剛山の入山料を取り、村が経営

おいしいお水を活かす

- ☆菊水の活用
- ☆おいしい水で作ったおいしいお米⇒菊水米
- ☆水分神社の宮司に御祓いしてもらい付加価値をつける



- ★人が集まるだけではダメ
- ★バラバラで活動している
- ★みんなで一生けんめい取り組む
- ★村の人の意見・アイデアを聞き出す
- ★とにかく動く

取り組むにあたって

